



【調査速報】

琵琶湖を駆けた船の部材見つかる—

—長浜市西浅井町塩津浜—

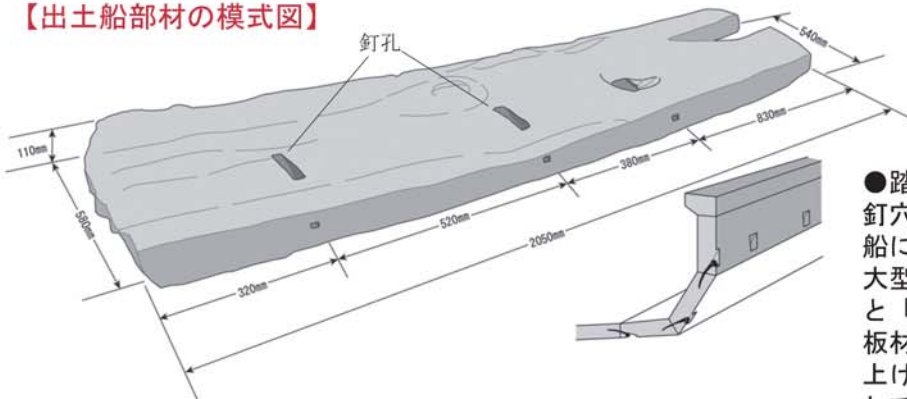


水路の踏板に転用された船の部材

■琵琶湖水運の拠点港—塩津港 昨年度に引き続き、国道8号バイパス工事に伴って塩津港遺跡の発掘調査を実施しました。その結果、日本列島の物流拠点の一つであった塩津港の様子—とくに古代から中世にかけての実態が次々と明らかになってきました。

■道路跡と船の部材 港の機能を拡張するため、何度も琵琶湖を埋め立て、そこにさまざまな施設が設置された様子がわかりました。とくに、今回の調査地点では、両側に石積みをもつ道路跡が見つかったほか、道路脇の側溝に渡した踏板が船の部材を転用したものであることが判明しました。平安時代末（12世紀頃）に琵琶湖舟運に用いられた実物の船が出土するのは初めてであり、当時の船の構造を知るうえで重要な手がかりとなるものです。*写真：滋賀県教育委員会提供

【出土船部材の模式図】



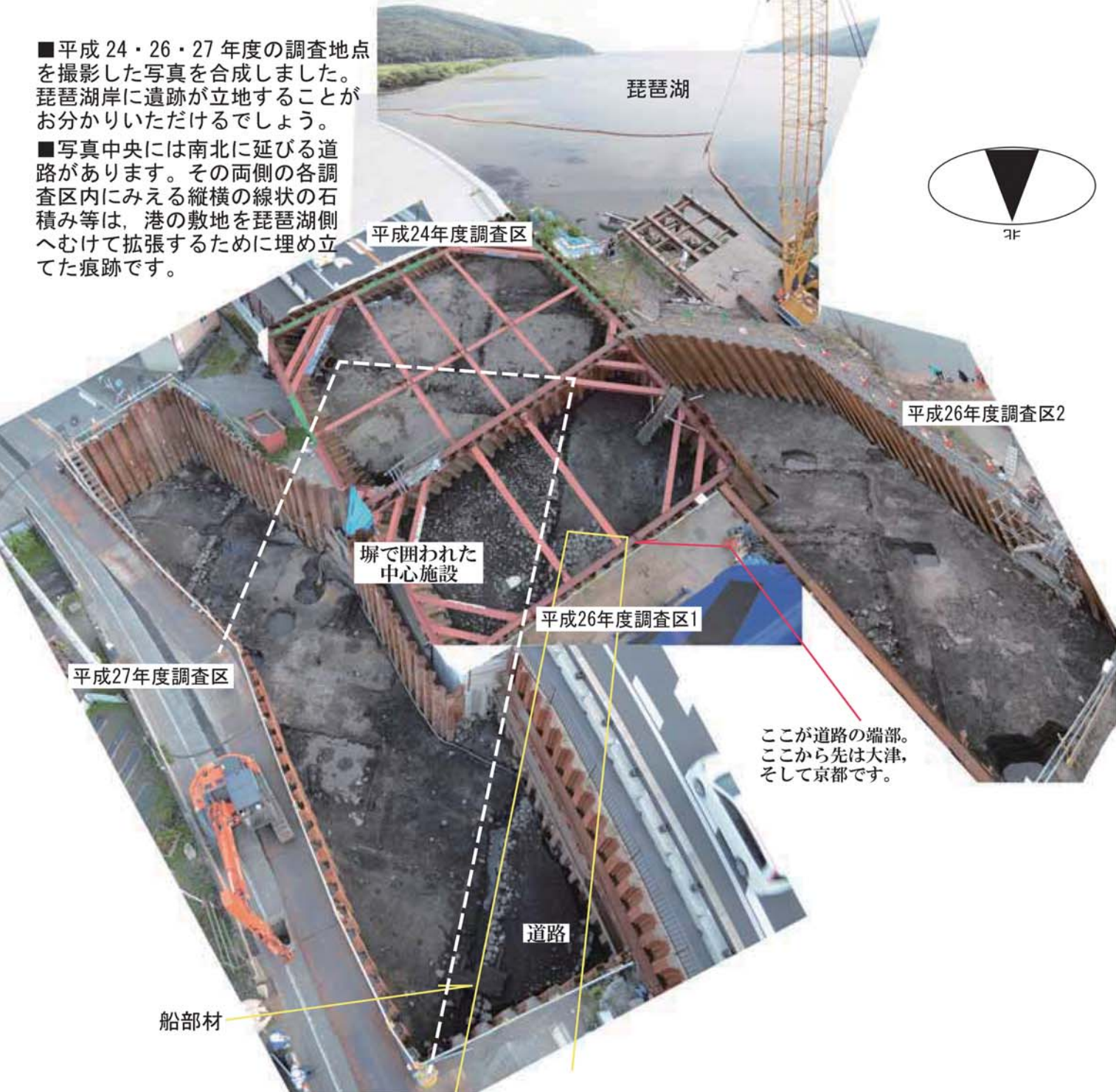
●踏板には釘穴が3箇所確認できました。この釘穴は板と板を接ぎ合わせるためのもので、和船に独特な工法です。近くから出土した模型船・大型の釘・工具などの資料も合わせて検討すると「板作りの構造船」の部材と判断できます。板材を継ぎ合わせてモノコック状の形状に組み上げる和船の原型といえ、構造船の実物資料としては最古級となります。材の大きさから船を復元すると、全長20mを超える船が想定されます。*模式図：当協会 横田洋三作図

●塩津港遺跡の現地説明会資料は当協会ホームページ
(<http://www.shiga-bunkazai.jp/>) からダウンロードできます。

公益財団法人滋賀県文化財保護協会は文化財をとおしてゆたかな滋賀づくりに貢献します。

■平成24・26・27年度の調査地点を撮影した写真を合成しました。琵琶湖岸に遺跡が立地することがお分かりいただけるでしょう。

■写真中央には南北に延びる道路があります。その両側の各調査区内に見える縦横の線状の石積み等は、港の敷地を琵琶湖側へむけて拡張するために埋め立てた痕跡です。



■塩津港遺跡で検出したほとんどすべての遺構が琵琶湖を埋め立てた造成地の上に造られていること、出土した遺物からその時期は12世紀頃に盛んに造成され、14世紀まで使われていたことが分かっています。

■今回の調査地点では両脇を石垣で固めた幅2.7mの道路が見つかりました。これは南北方向の道で、南端部は琵琶湖に接し、北は日本海の敦賀へ向いて伸びています。琵琶湖水運を通じて京都と北陸をつなぐ道一かつての

「塩津街道」に相当する道と考えています。

■道路の両側には、シガラミ・檜垣・高密度杭列等（下写真左）で護岸した埋め立て区画がいくつも連なっていました（下写真右）。区画内部では建物の基壇が多数見つかかり、建物が繰り返し建てられていた様子が窺われました。船の部材を転用した踏板は道路側溝に架けられていて、そこを渡って出入りしたであろう建物は港の中心的な施設の一つであったと思われます。



体験

無料

【イベント情報】

2016 びわこ文化公園 みどりのつどいフェスティバル

古代体験イベントを開催！

■「びわこ文化公園 文化ゾーン」で、毎年5月4日の「みどりの日」に「みどりのつどいフェスティバル」を開催しています。この日、文化ゾーン内にある各施設では、さまざまな体験イベントを実施します。滋賀県埋蔵文化財センターでは、クイズラリーや古代衣装の試着体験などをご用意しています。ぜひおこしください！

日 時：平成 28 年 5 月 4 日（水・祝） 参加料：無料
10 時～15 時 問合先：滋賀県埋蔵文化財センター
会 場：滋賀県埋蔵文化財センター (tel) 077-548-9681



講演

【イベント情報】公益財団法人滋賀県文化財保護協会 連続講座 文化財もの知り学

「新発見・発掘調査員が語る近江の遺跡と歴史 2016」

■当協会が県内各地で実施している遺跡の発掘調査。そこでは、日々あらたな「歴史」が明らかになっています。調査現場の最前線に立つ当協会の発掘調査員が近江の遺跡と歴史を語ります。

- 【第1回】 5/10（火）「愛知川の水害との闘い—東近江市土位遺跡の調査から—」（神保忠宏）
- 【第2回】 6/14（火）「栗太郡衙と古墳群—栗東市岡遺跡の調査から—」（辻川哲朗）
- 【第3回】 7/12（火）「守山市金森西遺跡を総括する—琵琶湖周辺の古墳時代集落—」（小林裕季）
- 【第4回】 8/16（火）「京極氏墓所—米原市清滝寺・能仁寺遺跡をめぐって—」（中川治美）
- 【第5回】 9/13（火）「縄文ムラの実像を探る—東近江市下羽田遺跡の調査から—」（中村健二）
- 【第6回】 10/11（火）「琵琶湖舟運の拠点港の実像を探る—長浜市塩津港遺跡の調査から—」（重田勉）
- 【第7回】 11/15（火）「彦根市松原内湖遺跡を総括する—湖辺集落の変貌—」（小島孝修）
- 【第8回】 12/13（火）「琵琶湖の船の考古学—長浜市塩津港遺跡出土船部材の意義—」（横田洋三）

※諸般の事情で発表者・題目を変更する場合があります。

日 時：5～12月の第2もしくは3火曜日 13時30分～15時15分
会 場：滋賀県立図書館 大会議室
受講料：講座全8回4,000円（初回〔5/10〕一括入金）
※欠席された回の配布資料はお取り置きいたします（郵送不可）。
定 員：100名（先着順）
申込先：下記まで電話にてお申込みください。
お申込みの際に、お名前・お電話番号・ご住所をお伺いします。
※頂戴した個人情報は本講座以外に使用することはありません。
公益財団法人滋賀県文化財保護協会 連続講座係
520-2122 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2 (tel) 077-548-9780
(受付時間：平日9:00～17:00)。



展示

滋賀県立安土城考古博物館春季特別展
第1回滋賀・兵庫博物館連携企画

「信長の家臣たち」

■戦国の世を統一に導いた織田信長。その大事業の裏には、これを支えた多くの家臣たちの働きがありました。
■父の時代から織田家に仕えていた猛将・柴田勝家、低い身分から実力で「部将」にのし上がった羽柴秀吉、将軍義昭の家臣から信長に転身した細川藤孝、最後に信長に謀反することになる明智光秀。これら武将だけでなく、所司代として京都で活躍した村井貞勝や、信長文書の文字を記した武井夕庵など、吏僚や奉行などもいました。
■展覧会では、信長の家臣たちの多彩な活躍やその末路などを、肖像画や絵図・古文書などを通じて幅広く紹介します。
●関連講演会等は巻末のイベントカレンダーを参照ください。



▲滋賀県指定文化財 信長朱印状・武井夕庵書状（草津市観音寺蔵）



重要文化財 細川幽斎（藤孝）画像▶（京都市天授庵蔵）

会 期：平成 28 年 4 月 29 日（金・祝）～6 月 5 日（日） 入館料：大人 890 円（680 円）・高大生 630 円（460 円）・小中生 410 円（310 円）
9 時から 17 時まで（入館は 16 時 30 分まで） *（ ）内は 20 名以上の団体料金
*5 月 2 日以外の月曜日は休館日 *「信長の館」との共通券もあります。
会 場：滋賀県立安土城考古博物館 企画展示室 問合先：滋賀県立安土城考古博物館 (tel) 0748-46-2424

【イベント情報】

みる・きく・ふれる <4~6月>

■滋賀県立安土城考古博物館主催事業■

(TEL) 0748-46-2424 / (FAX) 0748-46-6140

※予約は1カ月前から受付開始

日程	時間	イベント名	定員	予約	参加費	会場(集合場所)
4/29(金・祝)~6/5(日)	9:00~17:00	展示 平成28年春季特別展 第1回滋賀・兵庫博物館連携企画「信長の家臣たち」	—	不要	特別展観覧料	企画展示室
5/28(土)~7/3(日)	9:00~17:00	展示 「特別陳列 秀吉の五奉行と関ヶ原合戦」	—	不要	常設展観覧料	第二常設展示室
5/1(日)	13:30~	講演 春季特別展記念講演会①「信長家臣時代の秀吉」太田浩司氏(長浜市長浜城歴史博物館館長)	140	不要(先着順)	500円	2F セミナールーム
5/22(日)	13:30~	講演 春季特別展記念講演会②「信長の部将たち」谷口克広氏(歴史研究家)	140	不要(先着順)	500円	2F セミナールーム
4/9(土)	13:30~	講座 第53回企画展「琵琶湖文化館収蔵品特別陳列関連講座「垂迹曼荼羅の世界」上野良信氏(滋賀県立琵琶湖文化館学芸員)	140	不要(先着順)	200円	2F セミナールーム
6/11(土)	13:30~	講座 特別陳列関連講座「石田三成と佐和山城」林昭男氏(彦根市教育委員会)	140	不要(先着順)	200円	2F セミナールーム
①6/18(土)・②6/25(土)・③7/2(土)・④7/9(土)	13:30~	講座 連続入門講座 もっと楽しむ博物館 ①「入門 雪野山古墳と安土瓢箪山古墳」、②「入門 湖底遺跡」、③「入門 本能寺の変」、④「入門 徹底解説・神像彫刻」(講師はいずれも安土城考古博物館学芸員)	50	要申込	4講座で1000円	2F セミナールーム
5/14(土)	9:30~15:30	探訪 城郭探訪「観音寺城を歩く」	20	要申込	2000円	博物館エントランスホール集合
5/28(土)	9:30~12:30	探訪 城郭探訪「安土城を歩く」	30	要申込	1500円	博物館エントランスホール集合
4月29日(金・祝)~5月8日(日)	各日10:00~16:00	その他 親子写生大会	100	不要	—	博物館窓口で画用紙と画板をお渡しします
6/5(日)	13:30~15:00	その他 うつけ茶屋	20	不要(先着順)	300円	エントランスホール

【新刊情報】

刊行物 **紀要 29 号を刊行します**

■当協会職員が日頃の調査の中から様々な課題を見だし、それについて自らの考えを示した『紀要』を本年度も刊行いたします。時代と対象は多様ですが、近江地域をフィールドとして、地域の歴史を明らかにしようとした論文集です。

【内容】*カッコ内は主な対象となる時代

- ・滋賀県出土の「丸石」研究ノート／小島孝修 (縄文時代)
- ・古代における土器製作技術の一側面
—長浜市横山城遺跡出土カマド形土器を中心にして—／辻川哲朗 (古墳時代・古代)
- ・将棋史研究ノート7
—桂馬と香車の動きと性格—／三宅 弘 (中近世)
- ・中世塩津港の開発／重田 勉 (中世)
- ・滋賀県内における遺跡出土の石臼
—集成と地域の特徴の把握—／加藤達夫 (中近世)

【お申込み先】下記までお電話でご注文ください。下記事務所でも販売しております。
 公益財団法人滋賀県文化財保護協会 総務課 (tel) 077-548-9780

※なお、刊行は3月末日を予定しており、販売・発送は4月以降となります。



A4判/本文38頁/400円(税込み)

*郵送の場合は別途送料・振込手数料が必要となります。

県内の文化財情報をお手元に
ダイレクトメールのご案内

■ダイレクトメール(有料)をお申込みいただくと、当協会・滋賀県立安土城考古博物館をはじめ、滋賀県内の県・市町教育委員会・博物館等が実施するさまざまな展示や講演会・散策イベントの情報をとりまとめた、年間4回(春・夏・秋・冬号)送付いたします。

利用料：1000円(年4回発行分)

特典：お申込みいただいた方には、滋賀県立安土城

考古博物館無料優待券2枚を差し上げます。

※優待券では滋賀県立安土城考古博物館の常設展・企画展・特別展を無料で観覧できます。

申込方法：ゆうちょ銀行 振込口座番号01020-9-13923に利用料1000円をお振込みください。

※振込手数料はご負担願います。

※なお、ダイレクトメールは振込用紙にご記入いただいた住所に送付いたしますので、お名前・ご住所・お電話番号を必ず記入ください。

申込期限：平成28年5月2日(月)

問合先：公益財団法人滋賀県文化財保護協会 総務課 (tel) 077-548-9780